

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成31年4月22日 (NO.118)



浦幌町教育委員会

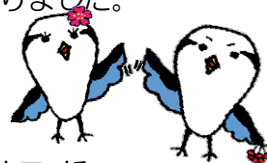
浦幌町教育研究所

平成31年度教職員の推進組織

小中一貫CS推進協議会

■平成31年4月22日、「第1回浦幌町小中一貫CS推進協議会」が開かれ、推進組織や事業内容が決まりました。

(1) 組織



会長	久門好行(教育長)
副会長	横山利幸(浦幌小学校長)
委員	都鳥秀史(中央小学校長)
	石森裕章(浦幌中教頭)
	阿部芳樹(学習指導部長)
	安宅央喜(うらスタ部長)
	柳沢やよい(学習指導部長)
	三浦雅司(うらスタ部長)
事務局	熊谷晴裕(次長)
	高橋 慎(参事)
	三宅正誠(係長)
	伊藤敏寛(係長)

池田 哲(浦幌中学校長)

白井将之(上浦幌中学校長)

鈴木信男(上浦公民館長)

安達大輔(生徒指導部長)

太田裕将(CS担当)

藤崎祐貴(生徒指導部長)

立野里奈(CS担当)

佐藤 亘(次長補佐)

原口康紀(係長)

大泉敦嗣(係長)



(2) 活動内容

- ① 第3期(平成30年～令和2年) ステージ3・「改善」PDCAサイクルによる改善
- ② 9年間を見通した教育課程の編成・実施(キャリア教育、英語教育 他)
- ③ 合同研修やジョイント教室、乗り入れ授業、ボランティアを活用した授業等の推進

(3) 各学園小中一貫CS推進協議会活動の交流

■事務局から、①「つなぐ」活動の推進、②「スマホ・ゲーム機使用のルール」を生かした学力・体力の向上、③進行管理表提出の回数減等について説明がありました。また、小中一貫CSの推進組織や推進計画、教育の日実践交流会の開催について提案があり、了承されました。

■各学園の活動計画について次のような意見交流をし、確認し合いました。

- 十分に実施できなかった英語科の乗り入れ授業を計画的に行う。
- 児童会や生徒会が「いじめ問題、挨拶運動、スマホルールの宣言」等について意見交流し、取組の必要性や意義について確認しながら着実に取組を進めていく。
- ふるさと学習小中9年間の取組をカリキュラム・マネジメントの観点から整理する。CS担当やコーディネーターと連携を図り、新たに福祉学習や林業学習に取り組む。
- 今年度から修学旅行を東京方面に変更し、Yahoo 本社での活性化案検討、武蔵小杉駅周辺でのアンケート調査を通して、地域活性化案発表に生かしていく。
- うらスタの「浦幌部」と中学校教育との関わりをいっそう深め、地域おこしへの意欲を高めたい。英語検定や漢字検定の取組を広げていく。
- 地域の熱い支援のもと、当事者意識を高めながら連携・協働の取組を進めている。

(15名の各委員から熱っぽい意見が出され、今年も充実した取組が期待されます。)